

日本学術振興会  
炭素材料第117委員会  
第295回委員会議事録

1. 日 時 平成22年9月22日(水) 9:30~16:45

2. 場 所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館11F 第一会議室

3. 出席者26名 (順不同・敬称略)

委員 長： 寺井隆幸(東大)

主 査： 川口雅之(大阪電通大)、児玉昌也(産総研)

幹 事： 鏑木裕(東京都市大)、稲垣道夫(北大名誉)、遠藤守信(信州大)、  
安田榮一(東工大)、吉田明(東京都市大)、小林知洋(理研)

委 員： 柴田大受(原子力機構)、武藤浩行(豊橋技科大)、塩山洋(産総研)、  
松平寛司(関西熱化学)、向井紳(北大)、川野陽一(新日鐵化学)、  
杉浦勉(新日鐵)、黒田孝二(SECカーボン/代理:西海亘)、山下良  
(新日本テクノカーボン/代理:菅原利夫)、阿久沢昇(東京高専)、  
岩下哲雄(産総研)、原田博文(日本カーボン/代理:牧田重史)

委員 外： 菱山幸宥(東京都市大名誉)、宮嶋尚哉(山梨大学)、加藤正明(群  
馬高専)、佐藤裕司(東海カーボン/代理:鶴田佳子)

同伴者他： 高木英行(産総研)

4. 本委員会議事経過

寺井委員長司会の下に本委員会を開催した。

4.1 前回議事録の承認

以下を訂正して回議事録(案)を承認した。

A分科会議事録

117-294-A-3 1行目 MINTEC社製 → MINTEQ社製

## C 分科会議事録

117-294-C-1 9 行目 示し、 → 示した。

## 本委員会議事録

4.2 第 117 委員会関係 (b) 訃報 大谷杉郎氏 委員外登録 → 元委員

4.3 報告事項 (2) 国際会議関係 Group → Groups

### 4.2 第 117 委員会関係

#### (1) 委員長報告等

##### (a) 訃報

元 D 分科会主査 日本工業大学名誉教授 大久保勝弘様 ご家族より 2009 年 4 月にご逝去との連絡

##### (b) 日独セミナー (117 委員会特別講演会) について

- ・ 第二回日独セミナーは 9/20 (月祝) に観光・歓迎会、9/21 (火) にセミナーを開催し、本日 9/22 (水) はドイツ側参加者と実行委員の一部で会社見学 (東海カーボン富士研究所) を行っている。
- ・ 発表件数は招待講演として日独それぞれ 2 件 (産業界、学界各 1 件)、口頭発表が日独それぞれ 4 件、ポスター発表 16 件 (全て日本側) で、計 28 件であった。
- ・ ドイツ側参加者は 8 名、日本側参加者は 61 名であった。

##### (c) J-PARC (大強度中性子発生施設) の利用について

- ・ J-PARC (東海村) において、新しい測定設備 (中性子・X 線同時計測等) を造る計画に 117 委員会も参加。  
名称: 量子ビーム融合化利用に関する先導的研究開発委員会 (学振委員会)
- ・ 上記委員会にて H23 年度の科研費新学術領域研究 (研究領域提案型) への応募を計画中。117 委員会からは豊田委員が提案を作成中。

##### (d) 幹事業務の分担について

業務の増加に伴い、特任幹事を置く

- ・ 日独合同セミナー担当 尾崎純一委員 (群馬大学)
- ・ 量子ビーム融合化利用 (J-PARC における先端計測提案) 担当 豊田昌宏委員 (大分大学)

##### (f) 知財関係について

寺井委員長より、当委員会の知財に関する現状について報告があった。学振は特許法 30 条

(新規性喪失の例外) 適用団体になってはいるが、当日配布する分科会資料がその条件を満たしていないという指摘がある。プリミティブな結果であって自由に発表し議論できるという当委員会の特長を生かしつつ、知財の権利関係も守られるようにするという方針が示された。資料をマル秘扱いとし、出席者に口外しない旨サインしてもらうという方法も一案である。これに対し、学振資料を論文で引用する場合どうするかという質問や、基本的に会費制クローズドの会合と考えるべきであるという意見が出された。

ウェブサイトにおける議事録の公開に関しては本委員会議事録のみとし、各分科会議事録については非公開とすることとした。

#### (g) 次回以降の予定について

H22 第 4 回 (296 回) [C, D, A, B] 11/19 (金) 東京大学本郷キャンパス (会場担当: 寺井委員長)

#### (2) 分科会報告

(117-295-B-1) グラファイト様層状化合物  $BC_2N$  膜へのナトリウムのインターカレーション

○川口雅之、山田薫、倉崎章弘 (大阪電気通信大学)

(117-295-B-2) 各種炭素材料添加複合材料の作製

○武藤浩行 (豊橋技術科学大学)

(117-295-C-1) 電気二重層キャパシタ用活性炭電極の熱処理による耐久性の改善

○白石壮志、菅沼孝章、須永薫 (群馬大学)

(117-294-C-2) 三重結合含有炭素 (カルビン状炭素) の電気化学特性 -リチウムイオン挿入脱離挙動 -

○白石壮志 (群馬大学)

(117-295-A-1) 高温処理熱分解炭素のへき開面 SEM 像と X 線 00l 回折プロファイル

○菱山幸宥 (東京都市大名誉教授)、吉田明 (東京都市大総合研究所)、鏑木裕 (東京都市大工学部)

#### 4.3 報告事項

##### (1) 炭素材料学会関係

学会関係: 阿久沢委員 (運営委員長) より以下の報告があった。

- (a) 現在会員数 (8/31 現在) 正会員 821 名 学生会員 255 名 合計 1076 名  
賛助会員 54 社 59 口
- (b) スキルアップセミナー 「電池用炭素系電極の新展開」(9/3) 参加者 39 名
- (c) 10 月セミナー 「1 日で学ぶ炭素材料入門 ー入門編ー」 (10/15) 総評会館  
講師 (敬称略) 稲垣道夫、岩下哲雄、吉田明、吉澤徳子、加納博文、白石壮志、遠藤守信
- (d) 年会 2010 年 12 月 1 日 (水) ~3 日 (金) 姫路市市民会館  
申し込み状況 : 口頭 105 件、ポスター 86 件 (合計 191 件) 例年並み  
特別講演 : 姫路市立城郭研究室 : 上田耕三氏「世界文化遺産・姫路城の保存と修理 (仮題)」  
今後の予定 : 10 月 12 日 要旨投稿締切 10 月 15 日 プログラム委員会
- (e) 評議員会・総会  
評議員会 11 月 19 日 (金) 17 : 30 ~ トラストシティカンファレンス・丸の内  
総会 12 月 2 日 (木) 15 : 30 ~ 姫路市市民会館
- (f) HP リニューアル 2011 年 1 月下旬運用開始予定
- (g) 炭素誌広告 年間契約 : 日本ベル(株)、北斗電工(株)

炭素誌関係 : 白石氏 (編集副委員長) より以下の報告があった。

J-stage アーカイブにおいて年内に 2009 年分、2010 年分のアップロードが完了し、全ての論文検索が可能となる。Scifinder からも検索可能で、外国人でも論文にアクセス可能となる。

## (2) 国際会議関係

稲垣幹事より以下の紹介があった。

- (a) 上海で行われる Carbon2011 の日程は 7/24-29 で、初日に長野開催の時と同様に基礎的なレクチャーが行われる。
- (b) 層間化合物に関する国際会議(ISIC)は 2011 年の 5/22-27 にチェコのプラハ近くで開催される。要旨締切が 12 月なので注意。

(以上)